二中プライド
～共に磨き合う「明倫の心」～

令和８年１１月６日

上田市立第二中学校　No.８

学　校　だ　よ　り

『秋の人権教育月間　校長講話より』　～情報の本質を見極める力～



　このグラフをご覧ください。出生数（しゅっしょうすう）と出生率（しゅっしょうりつ）の推移を表したものです。年々、出生数が減っているのが分かりますよね。

　ここに注目してみましょう。出生数、出生率ともにガクンと減っている年があります。1966 年、昭和41年は、出生数、出生率ともにガクンと落ちています。なぜでしょうか？実は、この年は「丙午（ひのえうま）」なのです。

　十二支は、みんな知っていますよね？　みなさんは何年ですか？　干支（えと）は十干（じっかん）と十二支の組み合わせで60通りあります。同じ午年でも、「丙午」は60年に一度しか回ってきません。昔は、「丙午」の年に生まれた女性は、気性が激しいとか夫を食い殺すとか言われていたのです。夫を食い殺すなんてありえないですよね。

　これは「丙」も「午」も「火」の性質をもつことから、その年に生まれた女性は気性が荒く、夫に災いをもたらすなどと言われ、女性蔑視の偏見へとつながっていきました。また、諸説ありますが、江戸時代、恋人に会いたい一心で放火事件を起こし、火刑に処された八百屋のお七の話に関連して、お七が、丙午の生まれとされたことで「丙午生まれの女性は気性が激しい」という根拠のない迷信が生まれたという説があります。

　1966 年、昭和41 年。江戸時代とは違って、科学が進歩していたはずなのに、この迷信を気にして子供を産むのを控える人が多く、前後の年に比べて生まれる赤ちゃんの数が約 25%も減るという大きな社会現象が起きたのです。それから 60 年。2026 年、令和８年。今年も「丙午」の年です。今は、こんな迷信を信じる人は誰もいません。今年の出生数は前年度並みだそうです。しかし、現代の私たちは本当に大丈夫でしょうか。インターネットやSNS に流れる根拠のない噂話や『みんながそう言っているから』という思い込みを、そのまま信じて誰かを傷つけたり、不安になったりしていませんか？ 江戸時代の迷信が昭和の時代まで人々を縛り続けたように、私たちも気づかないうちに『思い込みの枠』に囚われているかもしれません。

　これからの時代を生きる皆さんには、周りの意見や古い常識に流されることなく、何が事実で何が正しいのかを自分の目でしっかり見極める力を育ててほしいと思います。情報の本質を見極める力をつけてほしいと思います。

　本来、丙午の『丙』は太陽のような明るさや成長を、『午』は前進する強いエネルギーを意味します。「根拠のない噂や思い込みに惑わされず、科学的・客観的な視点を持つこと」「多様性を認め合い、一人ひとりの生き方を尊重すること」を大切にしてほしいと思います。今日から始まる後期人権教育月間で、仲間と一緒に考えていきましょう。

『令和９年度生徒会発足に向けて』　～教室訪問始まる～



　令和９年度の生徒会発足に向けて、10 月 27 日（火）より生徒会長・副会長候補者と推薦責任者による教室訪問が始まりました。事前に配布された「選挙公報」には、各候補者の公約や思いが記されています。話を聴く生徒たちも、広報や演説の内容を受けて真剣に質問する姿があります。全校で意見を交わし合いながら令和９年度の生徒会発足に向けて力強く発進してほしいと思います。

　11 月 12 日（木）に立会演説会と投票を行います。

『全国学力・学習状況調査の結果より』

４月に実施しました中学３年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の結果を受けて、本校の傾向と改善の方向についてお知らせいたします。

国語…本校の平均正答率は、全国平均に対して、約７ポイント上回っています。

文章や発表などで工夫とその効果について、助言を踏まえて良い点・改善点を見いだす力が十分に身についている生徒が多くいることが分かりました。一方で、話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する問題は苦手な傾向が見られました。

今後、話し合いやディベートなどの単元において、自分の発言や相手の発言が、その話し合いの中でどのような役割を果たしているのか、またどのような効果があったのかに着目する授業を行っていきたいと思います。

数学…本校の平均正答率は、全国平均に対して、約７ポイント上回っています。

数や図形の性質のような、数学固有の概念からみられる性質を捉えたり、その特徴を説明したりする力が優れていることが分かりました。一方で箱ひげ図や度数分布多角形の特徴を読み取り、その特徴から判断した理由を説明することに課題があります。

今後、数学的な表現から数値を読み取るだけで終わらせず、「何が読み取れるか」「そこから何が判断できるか」「なぜそう判断できるか」を段階的に考える授業を行っていきたいと思います。

英語…本校の平均正答率は、全国平均に対して、約 0.5 ポイント上回っています。

単語や文法などの知識を問う問題単体であれば正答できるものの、それらを実際の文脈やコミュニケーションの目的に応じて「使い分ける・活用する」場面になると、正答率が低下する傾向が見られました。

今後、「どのような場面で、どんな目的・相手のためにその表現を使うのか」という文脈をセットにした言語活動を組み、インプット（聞く・読む）した表現を、アウトプット（話す・書く）へ繋げるサイクルを毎時間の授業に位置付けたいと思います。

この調査から見える成果や課題を受けとめ、各教科・領域の授業改善や総合的な学習の時間の充実を図りながら、生徒たちが、問いをもち主体的に追究する教育実践に努めてまいります。

＜今後の予定＞



〔１１月〕

７日（土）男子・女子バスケットボール新人大会（予選）
８日（日）男子・女子バスケットボール新人大会（決勝）
１１日（水）第２回学校運営委員会
１２日（木）生徒会立会演説会・選挙
１４日（土）柔道新人大会
１６日（月）子ども中心の日ウィーク②（２２日（日）まで）
　　上田高校生による放課後学習支援　　学年費引落日
１７日（火）２学期期末テスト①・第４回総合テスト
１８日（水）２学期期末テスト②・ＰＴＡフェスティバル
２０日（金）秋の読書週間（２７日（金）まで）

〔１２月〕

１日（火）教育相談①
３日（木）教育相談②
４日（金）教育相談③
７日（月）教育相談④

【スクールカウンセラー来校日】
◇１１月２４日（火）
◇１２月　１日（火）
☆相談の希望がありましたら、担任または養護教諭までお知らせください。

【文責：教頭　油井　幸樹】